

株式会社椿本チエイン

2021年3月期 第1四半期決算報告

<アジェンダ>

説明内容	説明者	予定時間
・ 2021年3月期 第1四半期決算報告 および業績予想について	代表取締役社長 大原 靖	30分
・ 質疑応答	社長、各事業統括、 財務担当役員	30分

2020年8月18日

2021年3月期 第1四半期連結業績報告

1. 21年3月期1Q比¹⁾ 連結決算ハイライト

2

- 新型コロナウイルスの感染拡大による影響が大きく、前年同期比で減収・減益。
(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	前年同期比	
	第1Q実績	第1Q実績	増減額	増減率
売上高	55,894	40,829	▲ 15,064	▲27.0%
営業利益	3,659	1,169	▲ 2,490	▲68.1%
営業利益率	6.5%	2.9%	▲ 3.6%	
経常利益	4,314	1,649	▲ 2,664	▲61.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,201	1,211	▲ 1,989	▲62.2%
1株当たり四半期純利益	84.58円	32.74円		
(為替レート 1USD)	109.90円	107.63円		
(為替レート 1EUR)	123.50円	118.59円		
(為替レート 1RMB)	16.32円	15.59円		

2. 21年3月期1Q比^{※1}- 事業セグメント別業績

3

- チェーン、精機は減収も黒字確保。
ロックダウン等の影響を強く受けた自動車・マテハンで損失計上。

(単位：百万円)

		2020年3月期	2021年3月期	前年同期比	
		第1Q実績	第1Q実績	増減額	増減率
チェーン	売上高 ^{※注1}	17,070	14,640	▲ 2,430	▲ 14.2%
	営業利益	2,067	1,594	▲ 472	▲ 22.9%
	営業利益率	12.1%	10.9%		
精 機	売上高 ^{※注1}	6,067	4,533	▲ 1,533	▲ 25.3%
	営業利益	656	202	▲ 454	▲ 69.2%
	営業利益率	10.8%	4.5%		
自動車部品	売上高 ^{※注1}	18,393	10,450	▲ 7,942	▲ 43.2%
	営業利益	1,718	▲ 172	▲ 1,891	—
	営業利益率	9.3%	—		
マテハン	売上高 ^{※注1}	14,351	10,993	▲ 3,357	▲ 23.4%
	営業利益	▲ 400	▲ 201	198	—
	営業利益率	—	—		
その他 ^{※注2}	売上高 ^{※注1}	998	881	▲ 117	▲ 11.7%
	営業利益	▲ 26	▲ 91	▲ 65	—
	営業利益率	—	—		

※1：売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

※2：「その他」は、報告セグメントではありません。

2021年3月期 連結業績予想

3. 21年3月期 通期業績予想

5

- 下期より緩やかな持ち直しを見込むものの、急激な需要回復には至らず、減収減益を予想。

(単位：百万円)

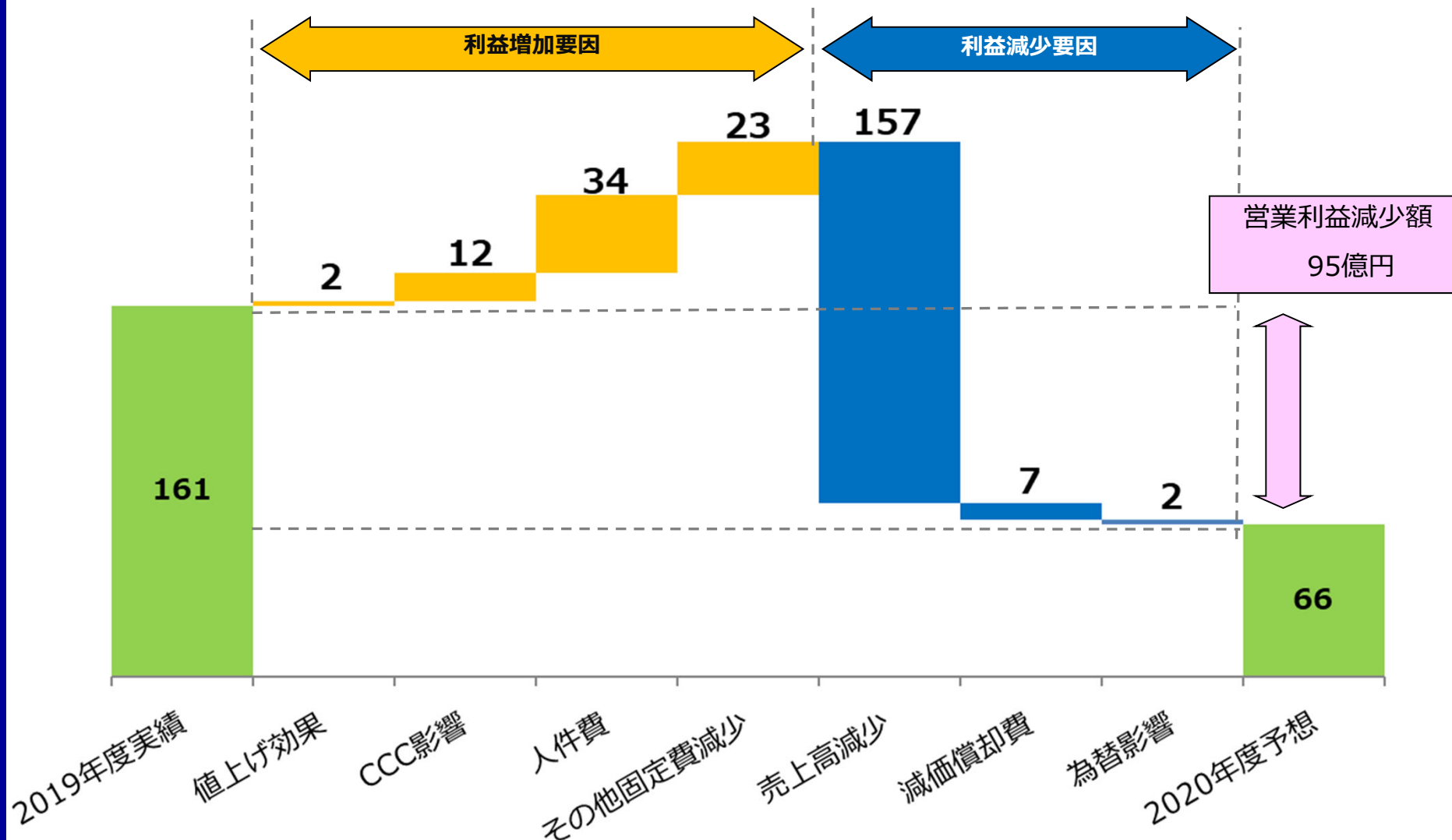
	2020年3月期	2021年3月期			前期比
	通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	増減率
売 上 高	226,423	88,000	102,500	190,500	▲15.9%
営 業 利 益	16,146	1,900	4,700	6,600	▲59.1%
営業利益率	7.1%	2.2%	4.6%	3.5%	
経 常 利 益	16,698	2,700	4,700	7,400	▲55.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,576	1,700	3,600	5,300	▲54.2%
1株当たり当期純利益	308.71	45.94円	97.27円	143.21円	—
(為替レート 1USD)	108.71円			105.00円	—
(為替レート 1EUR)	120.81円			116.00円	—
(為替レート 1RMB)	15.77円			15.00円	—

4. 21年3月期 連結営業利益増減要因分析

6

■ 2020年3月期実績 vs 2021年3月期予想

(単位：億円)



5. 21年3月期 事業セグメント別業績予想

7

(単位：百万円)

		2020年3月期	2021年3月期			前期比
		通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	増減率
チェーン	売上高 ^{※注1}	67,526	28,000	30,200	58,200	▲13.8%
	営業利益	8,406	2,340	2,560	4,900	▲41.7%
	営業利益率	12.4%	8.4%	8.5%	8.4%	
精 機	売上高 ^{※注1}	23,813	9,000	9,700	18,700	▲21.5%
	営業利益	2,189	330	490	820	▲62.5%
	営業利益率	9.2%	3.7%	5.1%	4.4%	
自動車部品	売上高 ^{※注1}	70,949	22,400	28,800	51,200	▲27.8%
	営業利益	5,791	▲ 550	2,070	1,520	▲73.8%
	営業利益率	8.2%	—	7.2%	3.0%	
マテハン	売上高 ^{※注1}	64,212	27,900	33,600	61,500	▲4.2%
	営業利益	647	420	330	750	15.9%
	営業利益率	1.0%	1.5%	1.0%	1.2%	
その他 ^{※注2}	売上高 ^{※注1}	3,542	1,700	1,900	3,600	1.6%
	営業利益	20	▲ 200	▲ 260	▲ 460	—
	営業利益率	0.6%	—	—	—	

※注1：売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

※注2：「その他」は、報告セグメントではありません。

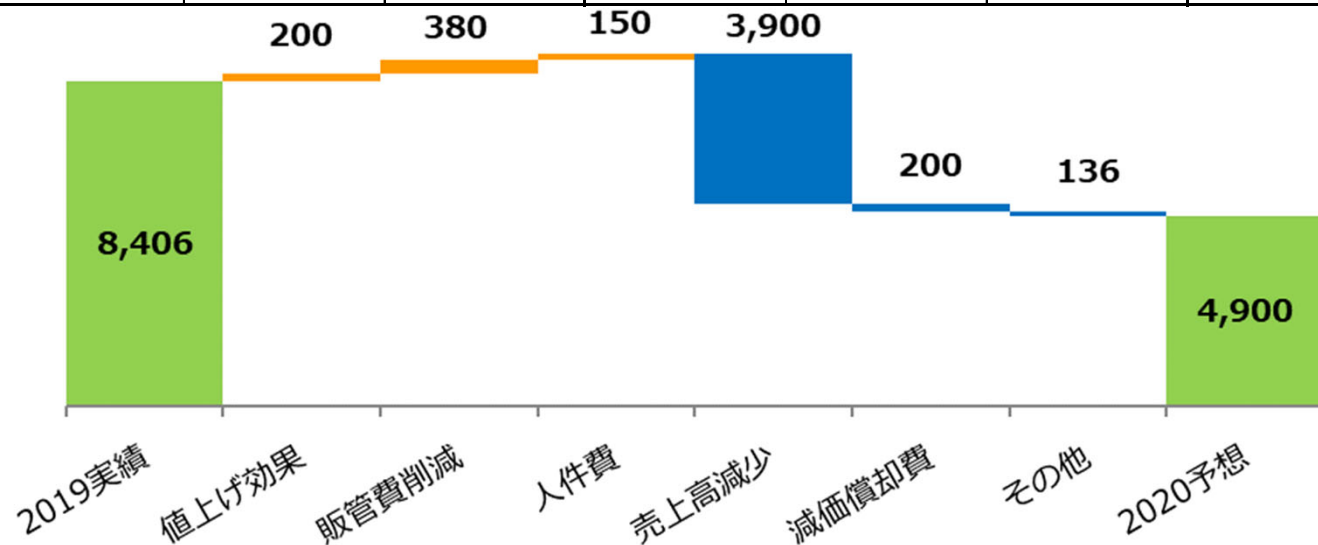
5. 21年3月期 事業セグメント別業績予想 〈チェーン事業〉 8

※注1：売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

(単位：百万円)

		2020年3月期			2021年3月期			前期比
		上期実績	下期実績	通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	増減率
チェーン	売上高※注1	34,111	33,415	67,526	28,000	30,200	58,200	▲13.8%
	営業利益	4,291	4,115	8,406	2,340	2,560	4,900	▲41.7%
	営業利益率	12.6%	12.3%	12.4%	8.4%	8.5%	8.4%	

〈営業利益の増減要因〉



- ・日本・・・第1四半期は値上げ前の駆け込み需要があったが、鉄鋼・自動車関連をはじめとした投資の抑制により、下期以降も受注環境は大幅に改善せず、減収・減益を見込む。
 - ・アメリカ・・・第1四半期は昨年度第4四半期における代理店受注の回復があり堅調だったものの、足下で新型コロナウイルス感染拡大が続いており、先行き不透明感が増大。先行きについては第1四半期より厳しい状況と予測、減収・減益を見込む。
- 全体として 減収・減益を見込む。

5. 21年3月期 事業セグメント別業績予想

〈精機事業〉

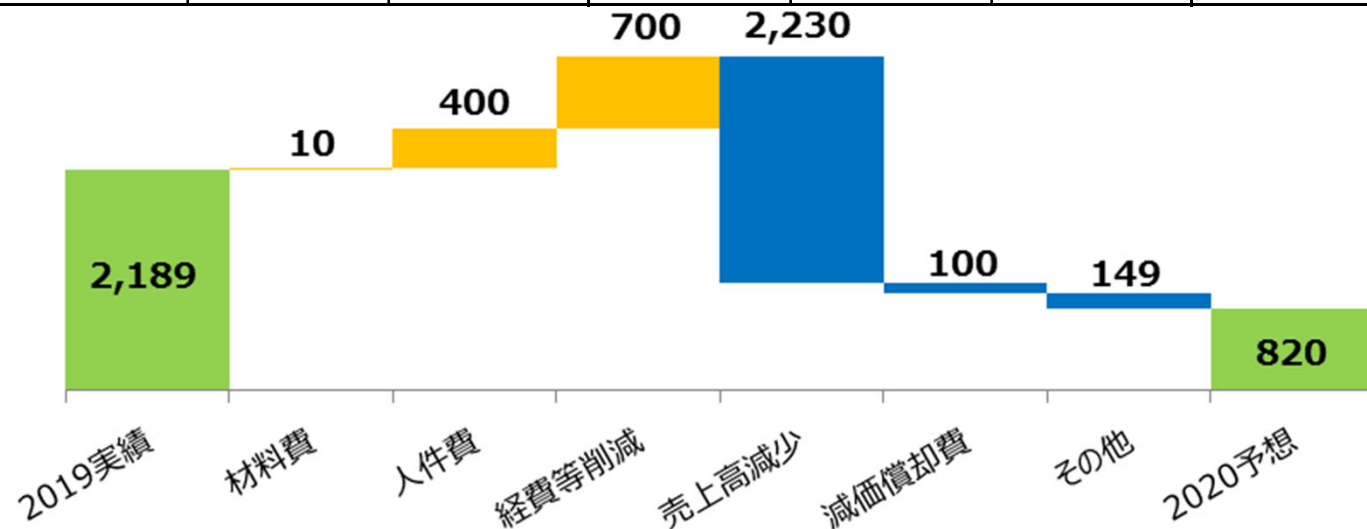
9

※注1：売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

(単位：百万円)

		2020年3月期			2021年3月期			前期比
		上期実績	下期実績	通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	増減率
精 機	売上高※注1	12,059	11,754	23,813	9,000	9,700	18,700	▲21.5%
	営業利益	1,104	1,085	2,189	330	490	820	▲62.5%
	営業利益率	9.2%	9.2%	9.2%	3.7%	5.1%	4.4%	

〈営業利益の増減要因〉



- ・日本・・・第3四半期以降は緩やかながらも持ち直しを見込むものの、新型コロナウイルス感染拡大前の需要までには戻らず、大幅な減収・減益を見込む。
- ・環インド洋・・・インドでのロックダウン長期化により、自動2輪車向けカムクラッチの販売低調が持続。減収・減益を見込む。

→ 全体として 減収・減益を見込む。

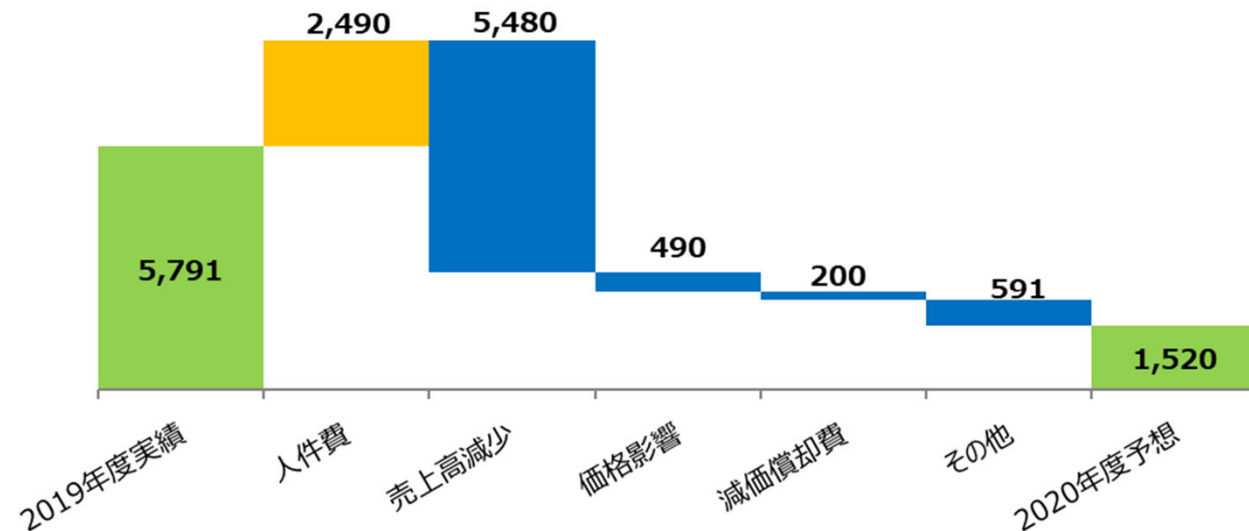
5. 21年3月期 事業セグメント別業績予想〈自動車部品事業〉 10

※注1：売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

(単位：百万円)

		2020年3月期			2021年3月期			前期比
		上期実績	下期実績	通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	増減率
自動車部品	売上高※注1	36,353	34,596	70,949	22,400	28,800	51,200	▲27.8%
	営業利益	2,826	2,965	5,791	▲550	2,070	1,520	▲73.8%
	営業利益率	7.8%	8.6%	8.2%	—	7.2%	3.0%	

〈営業利益の増減要因〉



日本・・・第1四半期が底、徐々に回復に向かうものの、コロナ前の水準には戻らず減収・減益。
 アメリカ・・・日本と同様、第1四半期を底に回復に向かうものの、コロナ前からの車種MIX悪化継続、減収・減益。
 中国・・・第1四半期を底に、急速に回復も、ほぼ2019年度並みにとどまると予想。

→ 全体として 減収・減益を見込む。

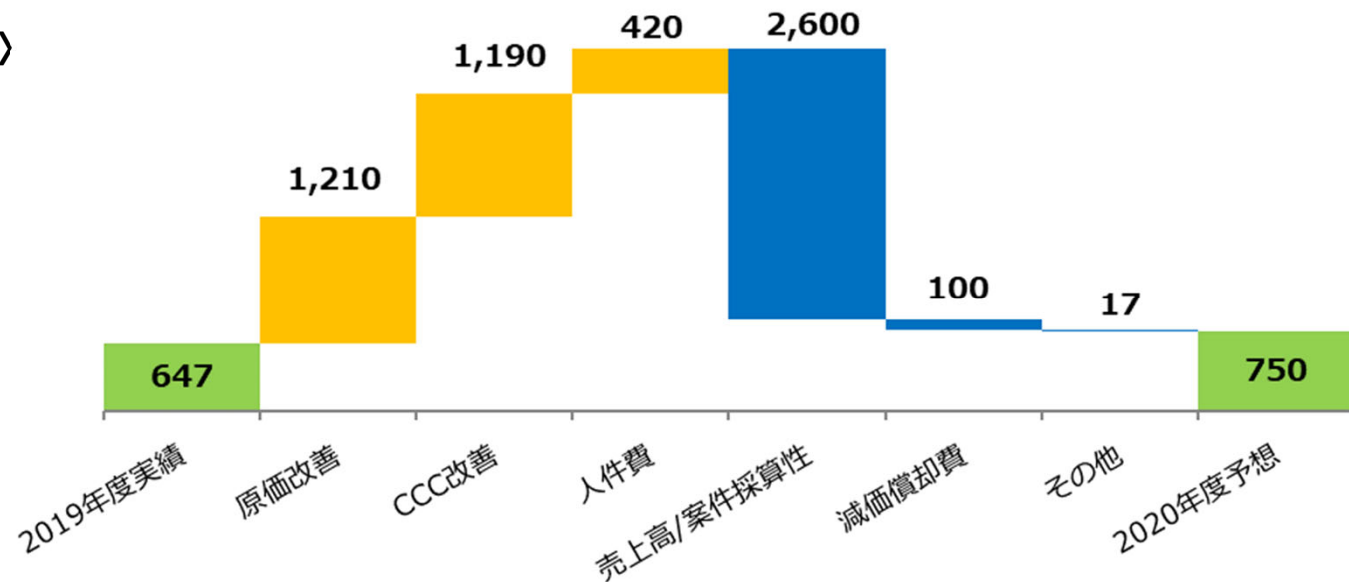
5. 21年3月期 事業セグメント別業績予想 〈マテハン事業〉 11

※注1：売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

(単位：百万円)

		2020年3月期			2021年3月期			前期比
		上期実績	下期実績	通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	増減率
マテハン	売上高※注1	31,750	32,462	64,212	27,900	33,600	61,500	▲4.2%
	営業利益	507	140	647	420	330	750	15.9%
	営業利益率	1.6%	0.4%	1.0%	1.5%	1.0%	1.2%	

〈営業利益の増減要因〉



- ・ 日本・・・子会社の粉粒体搬送設備は好調維持。流通向け自動仕分け機は新型コロナウイルスの影響で引合増加も、受注時期の関係で売上減、結果トータルで減収。案件採算性の悪化により減益。
- ・ アメリカ・・・自動車製造工場向けの大口案件が寄与し増収、昨年度発生した工事費用等が減少したこと等により増益。

→ 全体として 減収・増益 を見込む。

6. 欧州メイフラン事業について

12

■ 欧州メイフラン事業の採算性改善に向けて

<採算性の改善>

- ・ 不採算案件の整理および人員配置の適正化

<今後の成長戦略・足下の動向>

- ・ 新商品「**クリーンスウィープGⅡ**」日・米・欧で同時発売
 - ・ 日・米・欧3社による共同開発により、限られた開発人材を有効活用。
 - ・ フィールドテスト等も3拠点で行い、タイミングのずれなく情報交換を実施、拡販をめざす。



7. 21年3月期 設備投資・減価償却費

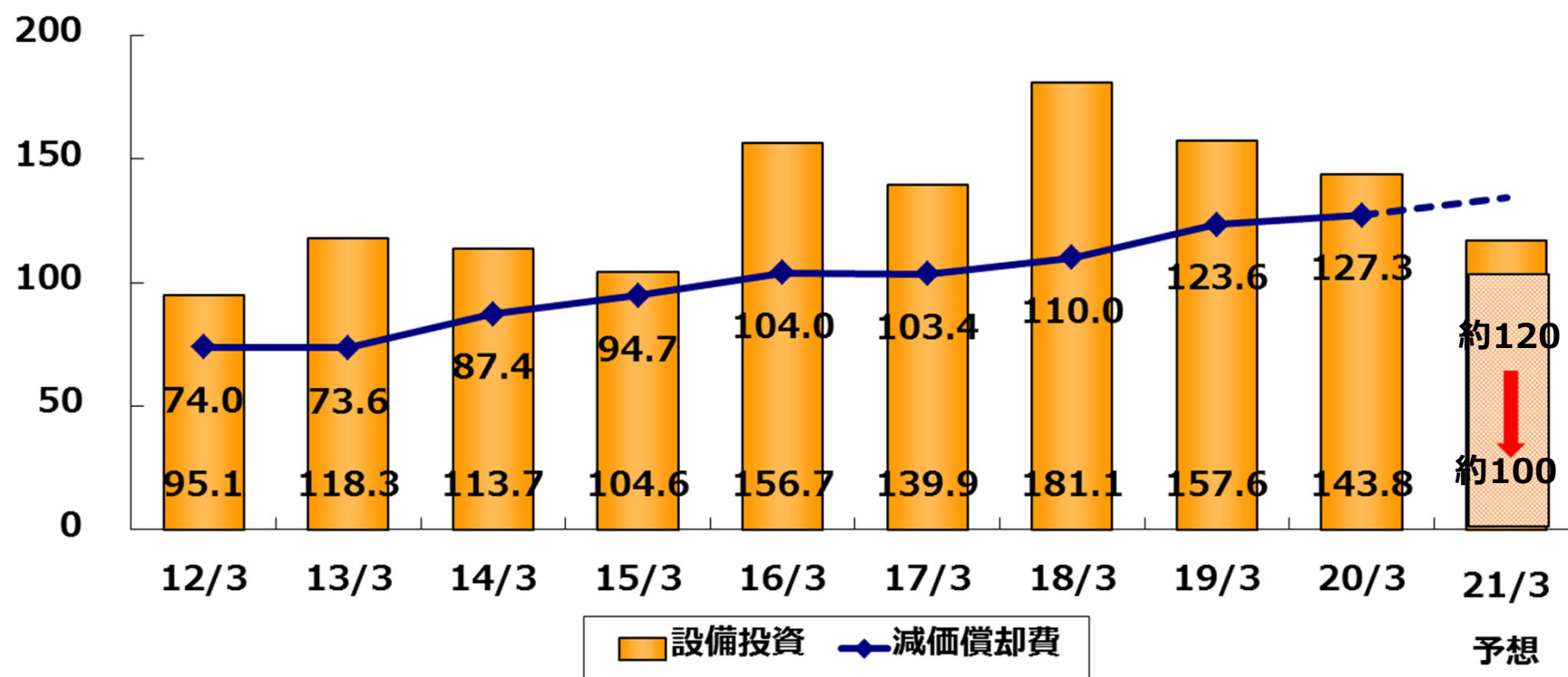
13

■ 成長力強化に向けた「資本投入」

- ①チェーンおよび精機事業の生産性改善を目的とした設備更新
- ②自動車部品の設備補強

< 設備投資と減価償却費の推移 >

(単位：億円)



8. 21年3月期 株主還元

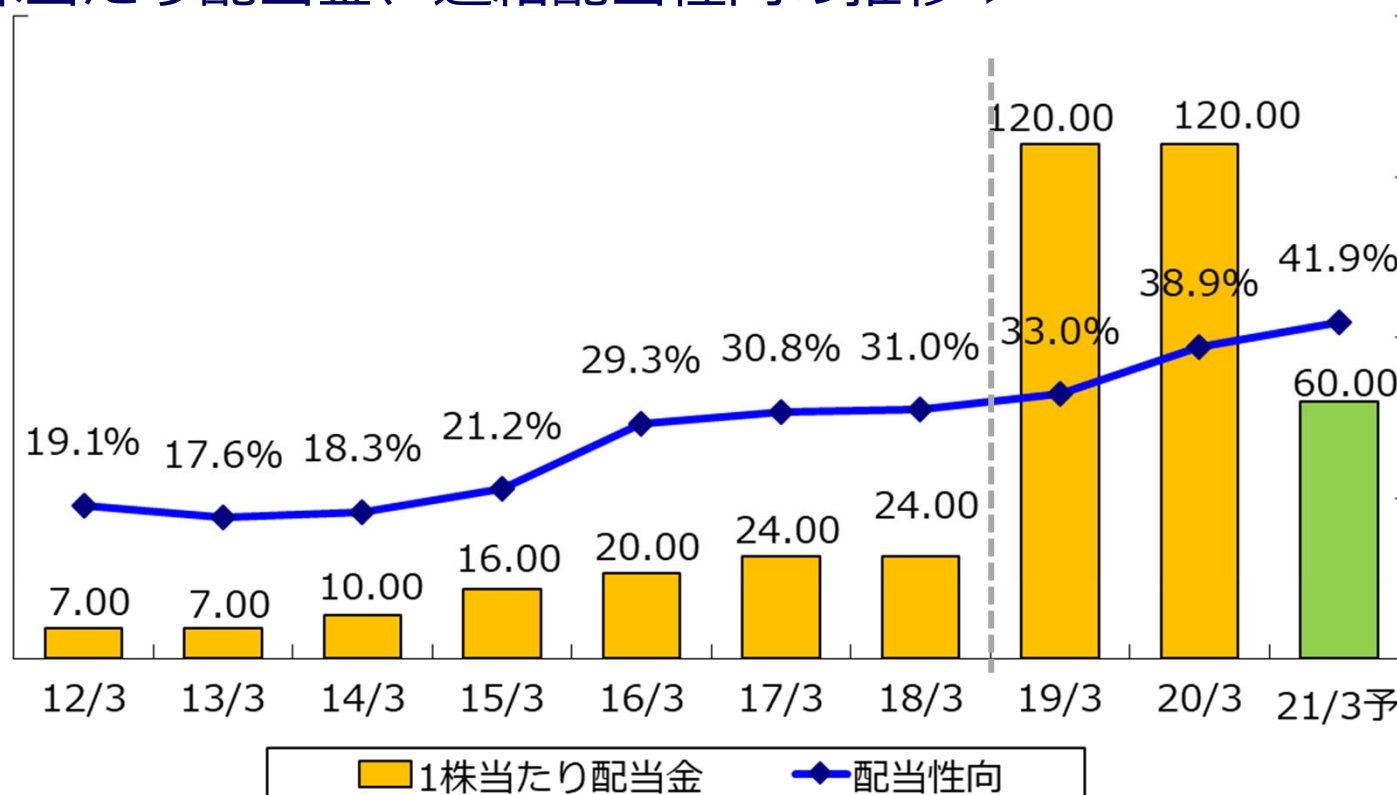
14

■ 配当方針

- ・ 連結業績を反映した配当を基本方針とし、
連結配当性向30%を基準とした利益配分を目指す。

< 1株当たり配当金、連結配当性向の推移 >

(単位：円)



※2018年10月1日付で株式併合を実施。2019年3月期の配当金は併合後で換算。

本資料に記載している事業計画および業績予想等に関する記述は各資料の作成時点において当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
実際の業績は、各種要因により、これらの業績予想とは異なる結果になり得ることをご承知おきください。